

那加三だより

那加第三小学校
学校だより
H30. 7. 18

学校の教育目標 「力いっぱい やりぬく子」
「活動の様子」をHPからもご覧ください！ HPアドレス <http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

被災地を思い 我が町、我が家を見直す

(校長室より)

7月始め、停滞した前線による豪雨は西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。亡くなった方や安否不明の方の数が日に日に増えていくことに、自然の脅威と人間の無力さを感じます

テレビのニュースでこんな光景を目にしました。土石流により我が子が安否不明となり、自宅付近をずっと探し続けてきた一人の父親。ちょうどテレビの取材を受けている最中、近くで子どもが発見されたとの知らせが届いたのです。汗と泥にまみれた父親は、複雑な面持ちで消防団員の後を追いました。「何とか見つかってほしい」という思いと「我が子の亡くなった姿は見たくない」という思いが交錯していたのでしょうか。テレビの画面からそれが痛いほど伝わってきました。

瓦礫の下から発見された子どもを見た父親は、静かにヘルメットを取るとその場に泣き崩れました。そして、周りを囲む消防団の方々に何度も何度も頭を下げられました。「顔はよく分からなかった。でも、あのTシャツはうちの子です。会えてよかった。」と話されました。

6月の地震、そして今回は豪雨による土砂災害。たくさんの尊い命が失われました。その大きな悲しみが、家族や知人、友人を襲います。暑さに耐え、懸命に土砂にまみれた我が家を修復する方々がいます。電気も水も届かない不便な暮らしを強いられている方々がいます。自宅に戻れず避難所生活を余儀なくされている方々もいます。被災地のために私たちができることは限られていますが、少なくとも、今この瞬間にもつらい思いをされている方々がいらっしゃることを忘れることがあってはなりません。

先月の地震の後すぐに、各務原市がブロック塀撤去補助金の見直しを行いました。我が町、我が家の防災体制を、再度、見直してみることも大切です。熊本地震の後、被災した方々にとつたあるアンケートでは、避難して困ったこととして ①情報を得るすべがない ②水がない ③衛生面での不安 が上位を占めたそうです。水や食料が最も大切なのでしょうが、携帯電話の充電や常備薬の不足、ペットの世話にいたるまで、ふだん当たり前にできていたことがことごとくできなくなってしまうという状況に相当なストレスを感じるそうです。

夏休み中、ぜひ、家族で過ごす時間の一部を我が町、我が家の防災を見直す時間にあててください。



浅野市長さんが那加三へ

7月10日(火)、浅野健司各務原市長さんが那加第三小学校を訪問されました。今回は、消防長、教育長、教育委員会事務局長等の行政のトップを務める方々も同行くださいました。1時間弱の短い時間でしたが、全ての学級の授業を参観していただき、次のような感想をいただきました。

- ・明るさがいいですね。子どもたちの聞く姿、授業に参加する意欲がすばらしいと思いました。
- ・先生方が研修により力量アップを図ろうとしている姿勢を感じました。
- ・電子黒板をよく使ってくださいありがとうございます。さらに上手に使って子どもの力をアップさせてやってください。
- ・小学校区として盆踊りがあるこの地域を大切にしてほしい。新しく入ってきた人が多い地域でもある。街の魅力を高めてほしいし、いろいろな方にもっと知ってもらえるとよいですね。



7月は「身の回りを美しく整えよう」という生活目標のもと、全校が整理整頓を心がけました。一人一人が少し気をつければ、次に使う人の心が癒やされます。身の回りが整頓されていると、意欲や集中力も高まります。夏休み中、家庭でも整理整頓を心がけられるよう声かけをお願いします。



養護教諭が全ての学級で、学年に応じた歯磨きのポイントを指導しました。学んだことを生かして夏休み中にも歯磨きの習慣を大切にもらえるよう、「歯磨きカレンダー」を配付しました。「磨いた？」の声かけをぜひお願いします。また、低学年は、できるだけ仕上げ磨きをしてあげてください。



環境委員会がFBC(フラワーコンクール)に向けて、花壇作りに励んでいます。レイアウトも児童のアイディアです。雑草を取り除き、堆肥をすき込んだ畑に、サルビア、マリーゴールド、メランポジウム等を植えています。審査を受けるのは9月中旬です。